

2021(令和3)年度活動計画

◆スローガン

Let's enjoy our life together!

(共に人生を楽しもう!)

◆活動方針

- 1) withコロナとして、デジタル活用した会員ネットワークを強化する。
- 2) 脊髄損傷者への相談支援活動を積極的に行う。
- 3) 会員相互の連携を密にし交流を深める。
- 4) 障がい者就労支援事業を推進する。
- 5) 福祉のまちづくり等、バリアフリーに関する意見提言を積極的に行う。
- 6) 障害者社会参加支援拠点の整備要請を行う。
- 7) 障がい者団体との連携を図り、障がい者施策に関して要請活動を展開する。
- 8) 特定非営利活動法人として組織力の強化、活動の信頼性、透明性を図る。

◆令和3度事業計画

1. 特定非営利活動法人としての適正運営

特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会として組織力の強化、活動の信頼性、透明性を図りながら活動し、福祉サービス事業等の経営等を模索し、運営の安定化や会員に対してのより一層のサービス提供に寄与することを目指す。

- ① 通常総会の開催(5/22土15:00～ サン・アビリティーズうらそえ)
- ② 理事会年2回及び役員会の隔月(奇数月第3木曜日)開催

2. 脊髄損傷者相談援助

- ① 同じ障がいをもつ立場の者が、体験を基にしてアドバイスを行う「ピアサポート活動」を推進するためにピアサポーターを派遣し、脊髄損傷者並びにその家族への援助活動を行う。
- ② 地域にあるバリアフリーな店舗で地域の会員とゆんたくする「地域ゆんたく会」を開催(3か所)。
- ③ 障がい者支援施設訪問・交流事業の実施(新規)※沖縄県共同募金会助成事業
当事者によるピアカウンセリングの手法を中心とした施設訪問(8か所)を行い、意見交換の中で障害者の置かれている現状を聞くことで実態等を把握し、それを防止・予防すること、また、外出の機会が少ない施設利用者との親睦交流、情報提供を目的とした訪問活動を実施する。

3. 人材育成

離島県沖縄の立場から、生活権の確立及び社会参加の促進を目的に、県内外で実施される各種研修会へ、本会役員を派遣。

- ① 第20回全国脊髄損傷者連合会通常総会京都府大会に派遣(1名)
日時:令和2年6月4日(金)～5日(土)
会場:メルパルクYOYO(オンライン含めたハイブリット)
- ② 全脊連九州ブロック主催によるブロック会議並びに定例研修会の派遣
 - i 九州ブロック会議(沖縄県大会)
日時:10月16日(金)13:00～17:00
会場:オンライン(Zoom)での開催(沖縄が運営担当)
 - ii 九州地域定例研修会

日時:未定

場所:クローバープラザ(福岡県春日市)※WEBでの参加予定

4. 会員等のデジタル活用推進事業の実施(新規)※全脊連イベント助成事業

脊損者が急速なデジタル社会化に順応できるように、脊損者間の生活情報提供や交流機会を広げ、また、必要に応じて通信ツールで気軽にピアサポートできる仕組みにつなげるために、デジタル支援員をアウトリーチ型で派遣し、脊損者のデジタル活用推進を図り、生活の質を高めたい。

- ① デジタル支援員を配置し、支援が必要な脊損者宅に出向きLINEやメール、Zoom等のネットワーク化支援と生活におけるデジタル活用の相談支援を実施する。80人目標。
- ② 上記のネットワーク化を図り、広報誌や生活情報提供の定期的なメールマガジン発信を図る。
- ③ デジタル化等の相談会をZoom開催。

5. 文化・スポーツ・交流

- ① 社会参加と会員相互間の親睦を図ることや会員同士の情報交換の場づくりを図る。
 - i. 新年会交流会の開催(歳末助け合い配分金助成事業)
令和4年1月22日(土)12:00~14:00
 - ii. 地域ゆんたくカフェの開催(2回)
- ② ピアサポート活動を進めながら、障がい者スポーツクラブとの連携を深める。
- ③ 障がい者スポーツサークル等の活動を動画に記録し、ホームページ上にアップすることにより、障がい者スポーツの理解推進を図る。

6. バリアフリー当事者アドバイザー事業

- ① バリアフリー住宅化施工やリフォーム相談や行政・民間等での道路や建築物等の車いすユーザーの立場からのアドバイス活動を推進するために「バリアフリーアドバイザー」を配置。
- ② 公共交通と移動をテーマとしたセミナー(円卓会議方式)を開催(1回)

7. 障がい者就労継続A型事業及び障がい者就労移行支援事業の運営

今年度からの報酬改定において、A型事業については「スコア方式評価」が新たに導入されたことにより、報酬単価が上がった。これは、先駆的に取り組んだ、生産活動時間の「4時間~7時間」「在宅ワーク等による多様な働き方」の推進が実を結び高評価につながったものです。

昨年10月新規開設のB型事業については、新たに「ピアサポート加算」が導入されるなど、当事者運営が評価された。また、利用者人数についても当初見込み以上に利用者増が図られ年度当初で定員に近い人数となっている。

- ① 「障がい者就労継続A型事業(定員10名)」を運営。
- ② 「障がい者就労継続B型事業(定員20名)」を運営

8. 「沖縄県障がい者ITサポートセンター事業」の受託運営

沖縄県委託事業として、沖縄県における障がい者の情報格差(デジタル・デバイド)の解消による社会参加及び在宅就労促進を目的として、障がい者の情報技術(IT)の利活用に係るサポートを総合的に行う拠点として、「沖縄県障がい者ITサポートセンター」事業を受託し運営。

9. 広報活動

- ① 会員並びに関係者に向けた機関紙「しゃりん」を年6回(5,7,9,11,1,3月)発行する。
※沖縄県社会福祉振興基金助成充当
- ② 外に出る機会の少ない重度の障がい者に対して、生活に関する大切な情報を、インターネットを活用して提供するために、ホームページ及びfacebookの積極的運用を図る。
- ③ 脊髄損傷者の医療促進を図るために、リハビリテーションやiPS細胞等の再生医療、その他医療・保健・福祉に関する広報啓発を行う。

10. 障害者施策に関する意見提言活動の展開

- ① 県や市町村に設置される行政施策協議決定の場に積極的に参画し、意見提言を行う。
- ② パーキングパーミット制度の適正な制度化に関する要請、協議参画。
- ③ 「沖縄県障がい者社会参加施設」の整備、要請活動を行う。

11. 他の障害者団体との連携

- ① 障がい者施策に関して、関係機関団体と連携し、勉強会及び要請活動を展開する。
- ② 沖縄県における障がい者社会参加支援施設の整備に関する要請活動を行う。
- ③ ヘルスケア関連団体「VHO-net沖縄学習会」に参画しヘルスケア関連団体における連携強化とピアサポート学習の場とする。

2020(令和3)年度 年間事業・行事計画

日付	主体的事業・行事	
	内容	場所
4/12	第1回デジタル推進委員会	
5/8	監査	沖脊協事務所
5/15	令和3年度第1回理事会	サンアビリティーズうらそえ
5/22	令和3年度定期総会	サンアビリティーズうらそえ
5/下旬	施設訪問・交流(青葉園)	
6/4~5	全脊連第19回定時総会京都府大会の派遣	未定
6/中旬	施設訪問・交流(沖縄リハビリテーションセンター病院)	沖縄市
7/中旬	施設訪問・交流(一心療護園)	大宜味村
8/中旬	施設訪問・交流(中央療護園)	北中城村
9/中旬	パラリンピック東京2020YouTube観戦	サンアビリティーズうらそえ
9/下旬	第1回地域ゆんたくカフェ(中部地区)	未定
10/月上旬	施設訪問・交流(よみたん救護園)	読谷村
10/月上旬	観月会BBQ	未定
10/16	九州ブロック会議(沖縄県支部が担当県)	オンライン
7/中旬	第2回地域ゆんたく会(那覇)	未
11/7	施設訪問相談・交流事業の中間報告会	サンアビリティーズうらそえ
12/下旬	望年会(ハイブリッド開催)	未
1/下旬	施設訪問・交流(大浜第2病院)	未
2/月上旬	施設訪問・交流(未定)	未
03/下旬	第2回理事会	脊協事務所